

令和3年 網走市議会
文教民生委員会 会議録
令和3年4月23日(金曜日)

○日時 令和3年4月23日 午前10時30分開会
○場所 議場
○議件
1. 所管事務調査
(新型コロナウイルス感染症ワクチン接種体制
について)

接種推進室参事
情報政策課長 高橋 剛
(新型コロナウイルスワクチン
接種推進室参事)
市民活動推進課長 湯浅 崇
(新型コロナウイルスワクチン
接種推進室参事)

○出席委員(7名)

委員長	永本浩子
副委員長	近藤憲治
委員	金兵智則
	工藤英治
	平賀貴幸
	古田純也
	村椿敏章

○事務局職員

事務局長	林 幸一
次長	石井公晶
総務議事係長	法師人 絵理
総務議事係主査	寺尾昌樹

午前10時30分開会

○欠席委員(0名)

○議長 井戸達也

○委員外議員(0名)

○傍聴議員(7名)

石垣直樹
小田部 照
川原田 英世
栗田 政男
澤谷 淳子
松浦 敏司
山田 庫司郎

○説明者

副市長	後藤利博
健康福祉部長 (新型コロナウイルス ワクチン接種推進室長)	桶屋盛樹
健康福祉部次長 (新型コロナウイルス ワクチン接種推進室次 長)	永森浩子
新型コロナウイルス ワクチン	江口優一

○永本浩子委員長 ただいまから、文教民生委員会
を開会いたします。

本日の委員会ですが、所管事務調査であります。

それでは、新型コロナウイルス感染症ワクチンの
接種体制について、理事者より説明をお願いいたし
ます。

○江口優一新型コロナウイルスワクチン接種推進室
参事 お配りしております資料1号を御覧願いま
す。

新型コロナウイルス感染症の状況について御説明
いたします。

1の新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に
つきましては、ワクチンの供給状況に応じて国から
示された優先順位に基づき、現在3月に配分された
ワクチンで医療従事者の接種を進めており、直近で
4月25日に配分が見込まれる975回分のワクチンに
ついては、集団感染のリスクが高い介護施設等で生
活する高齢者に接種する予定としております。

在宅で生活する高齢者については、5月下旬の接
種開始、また基礎疾患や障がいのある方、その他の
市民については、医療従事者や高齢者の接種終了を
目安として、順次接種を開始できるよう準備を進め
ております。

(1)の接種対象人数につきましては、令和3年
3月末現在の総人口3万3,832人のうち、接種の対
象とならない16歳未満を除いた2万9,957人が対象

となります。

内訳は、優先①の医療従事者等1,377人、優先②の高齢者1万1,222人、優先③の基礎疾患や障がいのある方について2,811人、一般の1万4,547人となっております。

(2)の接種スケジュールにつきましては、高齢者に対する接種券、クーポン券ですが、こちらの発送が5月上旬、一般に対する発送が7月中旬を予定しております。

医療従事者等の接種につきましては、後ほど詳細を説明させていただきますが、3月9日から感染症指定医療機関である網走厚生病院から開始しております。

高齢者については、施設入所者を対象に4月26日の週から開始を予定しており、一般については8月の開始と見込んでおりますが、ワクチンの供給状況で遅れる可能性があるものと考えております。

(3)の国の高齢者向けワクチン出荷スケジュールについてですが、国では6月下旬までに65歳以上の全員が2回接種できるワクチンを配分する見通しを示しておりますが、現時点では5月3日以降の配分の詳細は不明瞭となっております。

本市においては、第4クールの4月26日から5月2日分となりますが、この4月25日にワクチン一箱が配分されますが、先ほど説明したとおり介護施設等で生活する高齢者に接種する予定となっております。

ワクチンの配分については、国とつながっているV-SYSというシステムでの管理が必要となりますが、現在高齢者接種分として第5クールで20箱、2万3,400回分の配分を要望しているところであります。

裏面を御覧ください。

(4)の接種別の状況ですが医療従事者等については、自院接種が可能となる連携型接種施設に位置づけられる網走厚生病院で3月9日から4月9日までに2回目の接種が終了しております。

こが病院、網走中央病院、道立向陽ヶ丘病院、桂ヶ丘クリニックの4病院においては、4月15日から順次開始しており、5月22日までに2回目を終了する見込みであります。

また、連携型接種施設以外の医療従事者につきましては、4月24日、25日の2日間で駒場特設会場、こちらは旧ウエスタン跡となりますが、こちらにおいて1回目を接種し、5月22日までに2回目を終了

する予定となっております。

なお、網走刑務所については、医師と看護師が在籍しているため、4月23日に自所接種を行うことで調整しております。

(4)の②高齢者については、23カ所の施設で生活する高齢者594人を対象に4月26日から医師・看護師の協力により巡回接種を開始することとしております。

また在宅の高齢者については、5月24日から75歳以上の後期高齢者5,559人を対象に開始し、7月4日から65歳以上の前期高齢者5,663人を対象に開始する予定ですが、ワクチンの供給状況で遅れる可能性があるものと考えております。

基礎疾患、障がい者等を含む一般については、会場接種による集団接種を基本としますが、仕事の都合による休日や夜間の希望接種に対応するため、会場の休日・夜間における開設も検討しております。

また、優先対象となる基礎疾患や障がいのある方については、先行予約を検討し、施設に入所する障がい者で集団接種に対応できない場合には、医師・看護師との連携により巡回接種を調整することとしております。

(5)接種会場ですが高齢者の集団接種については、記載のとおり市街ではエコーセンター2000及び旧ウエスタン跡の駒場特設会場、郊外では呼人コミュニティセンター、西網走コミュニティセンター及び東部、南部地区の1施設で行うこととしており、1日1会場での開設となります。

個別接種につきましては、各医療機関におけるワクチン接種となりますが、網走医師会が意向調査を行った結果、現時点で7医療機関が対応してもらえるとの回答を得ております。

次に、2の感染者の市町村名公表についてですが、報道によりますとこれまで振興局単位で公表していた新型コロナウイルス感染症の居住者情報について、北海道が週ごとに市町村単位で公表する方針を固めたとしておりますが、現時点では北海道から正式な通知等がないため公表に関する詳細は不明ですが、今後北海道からの情報等を注視してまいりたいと考えております。

最後になりますが、あした、あさつての2日間、医療従事者の集団接種を駒場特設会場、旧ウエスタン跡で実施します。

つきましては、議会事務局を通じて御案内させていただきましたが、本日午後2時から2時半の間、

駒場特設会場の視察を設定しておりますのでよろしくお願いいたします。

説明は以上でございます。

○永本浩子委員長 それでは、ただいまの説明に対し質疑ございませんか。

○金兵智則委員 ちょっと今の御説明の中で、何点が御確認をさせていただきたいところがあるのですが、まず裏面の（４）の①、連携型接種施設の４か所の病院の４７４名のところなのですが、４月１５日から５月１４日とここには書いてあったのですが、御説明で５月２２日と言っていた気がするのですが、それはどちらが正しいのかなと思ひまして。

○江口優一新型コロナウイルスワクチン接種推進室参事 大変申し訳ございません。私の先ほどの説明が間違っておりまして、資料の５月１４日が正しい日程となっております。

○金兵智則委員 わかりました。

資料のとおり５月１４日が正しいということ。

それと国家公務員の刑務所さんについては、４月２３日で調整中ということだったので、４月２３日って今日なのですよ。

今日やられているということなので理解していいのですよね。

○江口優一新型コロナウイルスワクチン接種推進室参事 そのとおりでございます。

○金兵智則委員 それともう１点ごめんなさい。１ページ目に、前のページに戻るのですが、ワクチン接種の接種対象人数のところ、優先③の基礎疾患の方が、２，１３１人ということで、これ２０歳から６４歳までということで書いてあるのですが、基礎疾患をお持ちの方で１６歳から１９歳の方はいないからこういう書き方ということなのですかね。

○桶屋盛樹新型コロナウイルスワクチン接種推進室長 ６４歳以下ですね、基礎疾患の方というのが把握できていない状況でありまして、これは国の手引に記載がされておりまして平均するとですね、総人口の６．３％という数字があったものですから、その数字を活用させていただいて、約２，０００人程度の基礎疾患というようなことをここに記載しているものであります。

○金兵智則委員 わかりました。

○平賀貴幸委員 何点が聞いていきます。

先ほど刑務所の話、４月２３日とありましたけれども、これ２回目もありますよね。

１回の日程しか書いていないのですけれども、それも全部刑務所にここはお任せするので、特に把握していないということですか。

○桶屋盛樹新型コロナウイルスワクチン接種推進室長 刑務所の接種が昨日ちょっと把握できてですね、今日ワクチンを引き継いだというような形で、ちょっと２回目までのお話まではできていないのですが、ここは刑務所に在籍するお医者さんと看護師の日程の中で調整をさせていただくということになるかと思ひます。

○平賀貴幸委員 はい、承知しました。

それから②の高齢者の接種が始まったときが一番気になるのですが、既にワクチン接種を終えた医療関係者以外は、そこには携わらないという状態をつくれるというふうに理解していいですか。

付け加えますけれども、それができる状態をつくる必要があると思ひているのですよ。

できていない自治体もあって問題になっているのを結構見ているものですから、優先順位の中にもう１段、優先順位をつくらなければいけないというイメージで申し上げているのですが、どうでしょう。

○桶屋盛樹新型コロナウイルスワクチン接種推進室長 すみません、それは医療従事者以外で接種に関わる方というような意味で捉えてよろしかったでしょうか。

○平賀貴幸委員 本来だったら医療従事者以外の方も、それが望ましいのですが、なかなかそこは難しいとするならば、せめて医療従事者だけは、高齢者の方に接種する際には全ての接種を終えた方になっている状態が望ましいので、その辺の優先順位を調整したほうがいいかと思ひますけれども、その辺どうでしょう。

○桶屋盛樹新型コロナウイルスワクチン接種推進室長 高齢者の接種に関わる医療従事者につきましては、医師、ナースを含めてですね、全員の接種が終了した方というふうに捉えております。

○平賀貴幸委員 理解しました。

そういう形になっていただけると、問題は大幅少なくなるのかなと思ひます。

それで、この中に含まれていないもので、優先接種をすべきだと言われていた職種があるのは、当然御承知だと思ひますけれども、まず施設の職員の方々、それから居宅で働く介護労働者の方々、あるいは障がい者福祉施設で働くの方々、同じく居宅で働

く方々などですね、いわゆるエッセンシャルワーカーという形で仕事をされていて、この社会インフラを支えている方々のうち特に福祉医療に携わる方々なのですけれども、その辺についてはどのような考え方で臨まれるのでしょうか。

○桶屋盛樹新型コロナウイルスワクチン接種推進室長 今回、来週、施設入所者の接種が始まるわけがありますけれども、本来であれば入所者と一緒に従事者も接種するというようなことで、当方は考えておりましたけれども、先ほども御説明したとおり、ワクチンが1箱975回分しか入荷しないというようなことで、施設入所者が市外の方も含めて630人くらいおられて、先ほど590数名というようなことで、これは網走市に住所を有する方なのですよね。

それに加えて、網走市外から来ている方もいらっしゃるって全体で630人、そうするとそれと同じくらいの施設従事者がおられるというようなことで、今回の供給されたワクチンの中では、接種ができないというような判断をさせていただいて、今回は入所者だけと。

それで連休明けにですね、先ほども説明したとおり、10日の週と17日の週に20箱のワクチンを要望しているので、それがどれくらい入ってくるのか、ちょっとまだ不明瞭ではありますが、そのワクチンが入ってきた段階で、従事者も優先的に打てればいなというふうに考えておりますけれども、ただ高齢者の1回目と2回目のワクチンを確保しておかなければならないというような課題もありますので、その辺は調整をしながら順次対応していきたいというふうに考えてございます。

○平賀貴幸委員 自治体の責任ではなくて、正直ワクチンを供給する側の責任で、そういう厳しい状態になるのだということを改めて理解させていただきませうけれども、そうすると優先③に入ってくるというふうに思えばいいのですかね、その方々は。

入るべく努力をするという形で理解をすればいいのか、それとも一般接種のほうに入るのだというふうに思ったほうがいいのか、どういう考えで現時点ではいらっしゃるのですか。

○桶屋盛樹新型コロナウイルスワクチン接種推進室長 基本的にはですね、基礎疾患、障がい者を含む一般の前に従事者はやりたいというふうに考えておりますけれども、そこはワクチンの供給状況を見ながら、配分を見ながらですね、調整をしていきたいというふうに考えてございます。

○平賀貴幸委員 共通の理解にそこは立てると思いますので、本当に国にしっかりと責任を持ってやってもらいたいとつくづく思うところです。

それから、裏面の2番の感染者の市町村名公表ですけれども、実は私、今朝ちょっと確認をさせていただいたところ基本的に誤報ですかね、このとおりの方針というか、方向感をもって自治体に今説明をされている段階で、5月11日の道議会の所管委員会で、そのことを報告しながらどうするのかということを検討中であって、こういう方針が決定しているわけではないということでありました。

市町村へのヒアリングの結果、やっぱり難しいというふうになれば、こういった検討自体がなくなるのだという状態で、何も決定しているわけじゃないのだそうです。

そういうことを踏まえていくと、いたずらにこういう形で公表すると誤解が生じるので、その辺うまく工夫していただきたいと思っておりますけれども、どうですか。

○桶屋盛樹新型コロナウイルスワクチン接種推進室長 報道を踏まえまして、私どもも北海道に確認をさせていただきました。

結局ですね、道内部での調整をし、また専門家会議ですとか、そういったものも諮り御意見をいただいた中で早期に整理を進めたいとのことで、全く中身がこう決められた内容ではなかったということがありましたので、市としてもですね、これは結局市町村のアンケートの中で4割は公表をすべき、6割が公表を控えるべきだみたいな結果になっておりますけれども、それを踏まえて北海道がどういう方向性を示すのか。その方向性が決まり次第ですね、市もこの公表の考え方というか、そういったものもちょっとまとめてですね、整理をしていきたいというふうに考えています。

○平賀貴幸委員 正直、せめてこのぐらいの公表はしてほしいなというふうに私も思っていますけれども、アンケート調査の後もヒアリングは続けているそうなので、その結果次第でどう変わってくるのかなと思いますが、網走としてどんな公表ができるのか、できないのかを含めて、引き続きそこは研究や調査を様々な形での検討を続けていただきたいと思っております。

私から以上です。

○永本浩子委員長 ほかに質疑ございませんか。

○村椿敏章委員 今の公表の件についてなのですか。

れども、何回か私も質問させてもらいましたが、市町村名くらいは公表してほしいという市民の声が多いので、この間に質問させてもらいましたけれども、そのときに市としては北海道のほうに公表を求めているというような部分もあったと思うのですが、今網走市の考えとしては公表についてどのように考えているのでしょうか。

○桶屋盛樹新型コロナウイルスワクチン接種推進室長 これまで北海道から2回ほど、夏くらいと多分2月だったと思うのですけれども、アンケート調査、意向調査がありまして、その中で網走市としてはやはり感染防止というような観点から、やはり公表をすべきであるというような意見を付して、私どもはお渡ししているところであります。

○村椿敏章委員 わかりました。
ぜひお願いいたします。

○金兵智則委員 またちょっと、何点かについてお伺いしたいのですけれども、4月25日に配分が見込まれるワクチンの975回分については、高齢者施設入所者の対象数594人、網走以外の方も含めると約630人くらいということで御説明を受けたのですけれども、この975回分で630人に打つと約300くらい余るのですよね。

2回分だと考えると、ちょっと足りないという感じなのですけれども、この辺はどう理解したらいいですかね。

○桶屋盛樹新型コロナウイルスワクチン接種推進室長 現在、先ほども少しお話ししましたけれども、5月10日の週と5月17日の週にそれぞれ10箱ずつを今要望しておりまして、やり取りの中でゼロはないというようなお話もいただいているので、そういった見込みの中で、2回接種ができるだろうというような判断のもと、実施をしようというふうに考えているところであります。

○金兵智則委員 わかりました。

975回分でとりあえず使う分使って、余りとまたその後に来るものを足して、2回目というような考え方だということなのだと思います。

それと高齢者ですとか、一般の方々に配るクーポン、高齢者の方のほうの方が先なのでお伺いしていきたいと思いますが、高齢者に配るクーポンは5月上旬ということになっていますので、このときに一斉に皆さんへクーポンを配って、多分優先、予約先着順とかではなくて、順番を決めてというような話をお伺いしていたのですけれども、その辺どのよ

うな考え方で、どのように進めていくのかをお伺いしたいというふうに思います。

○桶屋盛樹新型コロナウイルスワクチン接種推進室長 高齢者につきましては、やはりそのワクチンが段階的に入ってくるということがありましたので、まず高齢者につきましては、後期高齢者と前期高齢者を分けて案内を発送しようというふうに考えております。

先ほどの答弁と全くかぶるのですけれども、5月10日に10箱、17日に10箱というようなことで要望していて、10箱となると1万1,700人、1バイアル6回接種できて1万1,700回分なので、前期高齢者のほうの2回分、17日以降はまた後期高齢者の2回分というようなことで、そこで少し剰余が出るので、先ほどの施設入所者に回そうという考え方もあるのですけれども、そういった考え方で段階的にまずは高齢者の接種を終了させようというような考え方で、今計画をしているところであります。

○金兵智則委員 そうなると裏面の高齢者のところに後期高齢者が5月24日から、前期が7月4日からぐらいを考えていますよということは、クーポンもそれに伴って、例えば後期だと5月上旬、前期の方々と6月中旬ぐらいをめどに送るとかっていう考え方なのですかね。

○桶屋盛樹新型コロナウイルスワクチン接種推進室長 お見込みのとおりです。

スケジュールのところにもちょっと、後期と前期とちょっと分けた掲示をしていなかったので申し訳ないのですが、お見込みのとおりで後期高齢者が5月上旬、それで前期高齢者はまたちょっと発送日をずらしてというような形で考えてございます。

○金兵智則委員 わかりました。

そうしたらまず、5月上旬にクーポンを発送されるのは、75歳以上の方々の5,559名にまず送られると。

その中でワクチンがですね、潤沢に揃っていればうまいこといくのですけれども、これが足りないということになれば、またその中でも順番づけとか、していかなきゃいけないと思うのですけれども、その辺の考え方、例えば連絡が来た人からなのか、そうやってやると各自自治体でかなり電話の回線がパンクしたなんていう話もニュースでやっていますので、その辺をどのような考え方で打っていくおつもりなのかを、お伺いしたいと思うのですけど。

○桶屋盛樹新型コロナウイルスワクチン接種推進室長 予約につきましては、今予約の電話回線が8本とWebでの予約を可能としておりますので、なるべく混乱のないような形で、大体1日今300人ぐらいの接種を予定しておりますけれども、混乱のないような形で進めたいと思いますが、やはりクーポンを発送したときにはやはり多少の混乱はあるのかなと思うのですが、そこをしっかりと対応しながらやっていきたいと思っています。今全国的にちょっと混乱しているのは、ワクチンを確保できていない中で、限られたワクチンを先着順で高齢者に接種するなんていうようなやり方をしているような事例もあるようで、そういったことは網走市としては避けたいというふうな考え方を持っております。後期高齢、前期高齢と段階的にいくのですが、ワクチンが確保できた段階で、皆さんに接種できるような形の中で、クーポンの発送をしていきたいというふうに考えております。

○金兵智則委員 5月の上旬にクーポンが発送されると、後期高齢者に関してはということで、先ほどからお話しいただいている第5クールで、ある程度のもものがまとまって来ることが見えたら発送するということなのですかね、そうしたら。

○桶屋盛樹新型コロナウイルスワクチン接種推進室長 連休前には、ある程度の確保の状況がわかるというふうに認識をしております。

北海道に対しても連休を挟むので、なるべく早い段階で配分数を示してほしいということもお話しておりますし、やはりそこはちょっと、ある程度のワクチンの確保ができれば5月上旬に発送、もしそれが遅れるようであれば、どうしてもその発送がまたちょっと遅れてしまったりということが生じるというふうに考えています。

○金兵智則委員 わかりました。

そうしたら、クーポンの発送が固定ではなくて、全てはそのワクチンの確保が優先で、それができてから発送するので、もしかするとクーポンの発送も遅れてしまう可能性もあるということで理解をさせていただいて、クーポンが来てからは電話ですとか、ネットですとかで先着順というのか、予約をしていただいでそれで打っていくということなのですかね。

わかりました。

よく言われるのが、ワクチンが潤沢に来て接種が打っていけるようになってからの課題なのかもしれ

ないですけども、予約をしていたけれども、来なくてワクチンが余って廃棄をしてしまうというようなことがあった自治体もあったと思うんですけども、その辺の考え方、今の段階ではどのように思っているのかを最後にお伺いしたいなと思います。

○桶屋盛樹新型コロナウイルスワクチン接種推進室長 確かにそれは課題であるというふうに認識しております。

今、医療従事者を皮切りに始まって、医療従事者からできるということがありますけれども、余剰ワクチンにつきましては、例えば病院で余剰したものは消防職員で打ったりとかですね、いろいろとにかくロスが出ないように、ちょっと待機をつくっておいてという言葉があれかもしれませんが、なるべくロスが出ないようにワクチン接種を今進めている状態です。

厚生病院が終わり、今4病院で接種していますけれども、そこも同じですね、余ったら道職員に打ったりとか、そういった対応をしております。

考え方としてはそういうことでいくのですが、ただ高齢者、大勢の接種が始まったときにそれがどこまで対応できるのかというところもあるので、そこは課題の一つとして、今の計画でいくと5月24日から始まる予定ですので、そこまでにしっかりとその余剰ワクチンをどうするのかということなどは、解凍してしまうと要冷蔵で5日がたってしまったらもう使えなくなるので、そこは十分計画といたしますか対応を検討してですね、接種をして進めていきたいというふうに考えております。

○金兵智則委員 わかりました。

今、いろいろと大変な御苦労をされていると理解していますけれども、いろいろなことを念頭に置きながら進めていただきたいなというふうに思います。

○永本浩子委員長 ほかに質疑ございますか。

○平賀貴幸委員 既にクーポンを配られている自治体が出てきたりしてですね、インターネットでいろいろな形で検索をかけてみると、どんなことが問題になっているのかなということは、ちょっとデータ解析をすると出てくるのですけれども、それを見るときまずやってしまった自治体があるからなのですけれども、抽選をしたせいで皆抽選するのだと勝手に思い込んでいたり、先着順でやるから急いで行かないとか、家族と一緒に夫婦で打てないのだから、何か変なその思い込みがたくさんあるのですね。実

際に届いたクーポンを見ると、相当いろいろなことが書いてあって全然わからない。

それも一つのものに出てきていました。

その辺が懸念されていくのと、直接行ってしまおう、かかりつけ医でも打てるという情報だけが頭に入ってしまって、行ったら打ってくれるのだと思って行ってしまうというのも散見されるみたいなのですよね、データ解析していくと。

その辺を何らかの形で文書でやるのか、クーポンに書くのがいいのか、それとも先日来折り込まれているチラシのようなもので対応していくのがいいのか、ちょっといろいろと考えていかないといけないと思うのですけれども、その辺どうですか。

○桶屋盛樹新型コロナウイルスワクチン接種推進室

長 クーポンを発送する際に同封するものというのは、割と厚生労働省の全国的に共通な様式を使っております。

ただ、本当に今委員おっしゃるとおり、わからない部分というのが多々ありますので、当市の場合はそれにもう1枚お年寄りでもわかりやすいような案内を同封するというのもそうですし、あと御指摘のあったようにチラシでの周知ですとか、そういったところは高齢者に対してですね、なるべくわかりやすいような手法で発送と接種を進めていきたいというふうに考えています。

○永本浩子委員長 よろしいでしょうか。

ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

では、この件につきましては以上で終わらせていただきます。

これで文教民生委員会を終了いたします。

午前11時01分閉会
